

# カラフル

2023. 11 No. 08

## 読書に関する記念日



10月から11月にかけて本に関する記念日がたくさんあります。一部紹介します★

### 10月4日 古書の日

絶版になってしまった本を古書といいます。そんな古い本も図書館にならあるかも。

人生で迷ったときに読んでほしい！

『未来の自分に会える古書店』

齊藤 孝 (文藝春秋)



### 10月7日 ミステリー記念日

世界初のミステリー小説を書いたエドガー・アラン・ポーの亡くなった日。

世界初のミステリー小説★

『モルグ街の殺人』

エドガー・アラン・ポー

### 10月27日 文字・活字文化の日

人類最大の発明と言ってもいい「文字」に親しむ日。

つい誰かに話したくなる漢字の秘密

『日本人のための漢字入門』

阿辻 哲次 (講談社現代新書)



### 11月1日 古典の日

「古典」と聞くと難しそうですが、意外と昔の人も現代人と考えることは変わらない。

古典は、生きづらい人ほど役に立つ！

『古典を読んだら、悩みが消えた』

安田 登 (大和書房)

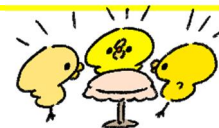


## 本を通して人を知る 人を通して本を知る

11月7日(火)の読書LHRでは、生徒と先生のビブリオバトルを観戦することになっています。実際にビブリオバトルをした経験のある生徒も、初めて聞いた生徒も楽しめる内容となっているはずなので、熱いバトルを期待してください！！



### ビブリオバトルってなに？



ビブリオバトルは、自分の好きな本について紹介し合うゲームです。

自分の好きな本を持って集まり、グループの中でその本について5分間で話します。メンバー全員の発表が終わったら、「最も読みたいと思った本」に投票し「**チャンプ本**」を決めます。「知的書評合戦」とも呼ばれています。



## 新刊案内



### 1 ウクライナ戦争は問いかける / 副島 英樹著 (朝日新聞出版)

ロシアによるウクライナ侵攻から1年。「敵か味方か」という思考で突き進めば、世界は悲劇的結末へ向かう。モスクワ滞在歴8年のジャーナリストが「核の脅威」と侵攻の本質を論じる。



### 2 体はゆく / 伊藤 亜紗著 (文藝春秋)

「できなかったことができる」とは何だろう？ ピアノや野球の技能習得のメカニズムからリハビリへの応用まで、先端テクノロジーが見せる体の「奔放な」可能性について考察する。



### 3 102歳、一人暮らし。 / 石井 哲代著 中国新聞社著 (文藝春秋)

物事は良いほうに考える、喜びの表現は大きく。健康で長生きするための習慣や「うまいこと老いる」極意を紹介。おいしい長生きレシピも収録する。自分らしく心をご機嫌に保つヒントが満載。



### 4 桜華 / 武田 頼政著 (文藝春秋)

「死への覚悟」を秘めたイージス艦艦長、ブルーインパルスを飛ばした広報室長。この国を護る女たちの結婚、出産、育児、離婚、出世、キャリアなどを描くノンフィクション。



### 5 図書館にまいこんだこどもの大質問 / こどもの大質問編集部編 (青春出版社)

町の図書館や放課後の図書室には、子どもたちから、じつに多種多様な質問が寄せられている。「おひめさまになりたい!」「秘密基地をつくるにはどうすればいい?」など、59のレファレンス事例を紹介する。



### 6 グラブ職人 / 岸本 耕作著 (ベースボール・マガジン社)

名手と向き合うことでグラブ作りは進化する。メジャーリーガーやプロ野球選手のグラブを作ってきたミズノのグラブマイスターが、一流プロ選手のこだわり、グラブ作りの変遷などを語る。



## 新刊案内



### 8 VISION 夢を叶える逆算思考 / 三笥 薫著 (双葉社)

三笥薫は、なぜ“世界の MITOMA”になれたのか。目標や理想像に向かって自身をアップデートしていった考え方や練習法から、メンタル、食事、言葉、海外挑戦についてまで、サッカー選手としての歩みを振り返りつつ明かす。



### 7 新種発見! / 馬場 友希編著, 福田 宏編著 (山と溪谷社)

陸地・水辺での新種発見エピソードや、思いがけないきっかけで新種が発見されたエピソードを掲載し、未知の生物が発見され、新種として記載されるまでの過程を紹介する。



### 9 やさしい猫 / 中島 京子著 (中央公論新社)

シングルマザーの保育士ミユキさんが心ひかれたのは、8歳年下の自動車整備士クマさん。小さな幸せが突然奪われたのは、彼がスリランカ出身の外国人だったから…。



### 10 お金に頼らず生きていたい君へ / 服部 文祥著 (河出書房新社)

沢から水を引き、薪を集め、ソーラーで発電。夏は菜園、冬は狩猟。山村の古民家で、ライフラインや食料を自給自足する暮らしを一から実践し、試行錯誤している登山家が、自身の体験を綴る。



### 11 日本人が知らない世界の祝祭日事典 / 斗鬼 正一著 (淡交社)

時間の裂け目をやり過ごすインドネシアのニュピ、いつの世も猫には幸せでいてほしいベルギーの猫祭り。文化人類学者が、世界の祝祭日と、その国・地域の文化や歴史、価値観などを紹介する。



### 12 韓国語で推しを語りたい! / Joo 著 (大和書房)

韓ドラや K-POP で楽しく韓国語を学ぼう! 韓国の推し活に関する文化と言葉を紹介し、SNSやコメントでそのまま使える表現を多数掲載する。



13 10代から知っておきたい女性を閉じこめる「ずるい言葉」  
/ 森山 至貴著 (WAVE 出版)

「男は度胸、女は愛嬌でしょ」など、押し付けや軽視がひそむ言葉に傷つけられないために。差別を考える社会学者が、女性が浴びせられがちな「ずるい言葉」から逃れる手がかりを伝授する。



14 ひとりの夜にあなたと話したい10のこと / カシワイ著  
(大和書房)

心がざわざわする夜も、泣きたいことがあった夜も。1日の終わりに届く手紙のように、やさしく孤独な夜に寄り添う絵と言葉たち。人気イラストレーターが、ささやかなエールのようにかけがえのない物語を紡ぐ。



15 いとエモし。 / koto 訳著 (サンクチュアリ出版)

心がゆさぶられ何ともいえない気持ちになることを指すことば「エモい」。「枕草子」「万葉集」「方丈記」「紫式部日記」などの古典を、いまを生きる私たちの感覚に寄せた現代語訳(エモ訳)で紹介。



16 ピアノマン / 南波 永人著 (小学館)

幼い頃、音が「色」に見えた少年・沢辺雪祈は、やがてジャズの魅力に取り憑かれ、運命の仲間たちと出逢う。目指すは「ソーブルー」での10代トリオ単独公演! 漫画「BLUE GIANT」もうひとつの物語。



17 変な家 / 雨穴著 (飛鳥新社)

謎の空間、二重の扉、窓のない子供部屋、この家、何かがおかしい。知人が購入を検討している都内の中古一軒家には「謎の空間」が存在していた。不可解な間取りの真相とは? 人気の不動産ミステリー。



18 やさしさを忘れぬうちに / 川口 俊和著 (サンマーク出版)

娘に結婚を許してやれなかった父、バレンタインチョコを渡せなかった女、名前のない子供を抱いた妻。未来に向かって歩みだすために、過去に戻る4人の勇気の物語。

